

第14回 CVA研修会 片麻痺患者の評価と治療

誠愛リハビリテーション病院

開催日：2014年 8月30日(土)～31日(日)

ボバース概念

機能的行動の最適化とは・・・

治療によって最大限の機能改善をはかり、いかに患者さんの生活の質を向上できるかどうかである。

ボバース概念による脳疾患リハビリテーション

良好な姿勢	環境適応の範囲が広がる
無理・無駄のない機能	次の段階の機能回復
効率的な自然運動	立ち直りやバランスの回復
正常に近いトーン	可動性を持った支持性 骨格筋の粘弾性回復
良好な姿勢	姿勢制御機構の回復、身体中心軸 正中位回復

対象物に対するPre s h a p i n g とShapingの異常



頭頂連合野の機能

- 一次体性感覚野:皮膚、深部感覚の統合、両側身体から体性感覚の統合
- 5野:手の位置と視覚による手の位置がマッチングした際に活動するニューロン
両側上肢が組み合わさった際に活動する
手で何かを触ったり、なでたりする時に強く活動する(関節、皮膚組み合わせニューロン)
- 7a(39野 角回): 視覚と前庭感覚の両方に応答する
- 2野、5野、7野、39野、40野:身体表像の生成

適応の拡大を目指して

解 決

創造性